



すてきな那覇、みつけませんか？

URBAN DESIGN OF NAHA - 2024 -



表彰作品集

な は けい かん しょう
那覇の景観賞



那覇市長
知 念 覚
Message from Satoru Chinen

あいさつ

はいさい！ ぐすーよー ちゅーうがなびら！

那覇市では、2018（平成30）年度から10年間のまちづくりの指針となる「第5次那覇市総合計画」を策定し、「那覇らしい景観を実現し、次世代に受け継ぐまちをつくる」を施策のひとつに位置付け、より良い景観づくりに取り組んでまいりました。また、2020（令和2）年3月に改定した「都市計画マスタープラン」では、メリハリのある都市構造の形成や緑陰による歩きやすいまちの形成など、多角的な視点を取り入れた方針を定めました。

その取り組みの一つである『那覇市都市景観賞』は、那覇の個性を活かした都市景観を市民の皆様との協働により守り、育て、つくるため、条例に基づき優れた都市景観の形成に大きく寄与している建築物・工作物・屋外広告物・活動等を表彰するもので、これまでに延べ82作品を表彰させていただきました。

令和6年度で第22回を迎えた『那覇市都市景観賞』は、多くの市民の皆様から82件の応募があり、その中から、那覇市都市景観審議会において、個々の魅力が地域の都市景観の向上に寄与している5作品を選定いたしました。

回を重ねるごとに、市民の皆様がすてきな那覇を見つけることで、美しい景観づくりに対する関心が高まってきており、まちづくりへの積極的な取り組みが各地域に見られますことを、大変心強く感じております。

今後とも市民の皆様との協働により、自然環境と都市の魅力が調和した那覇らしい亜熱帯庭園都市のまちづくりを推進してまいりますので、ご理解とご協力を、ゆたさるぐうとう うにげーさびら。

那覇市都市景観審議会委員 (令和6年8月21日から令和8年8月20日) ※令和6年11月7日時点

会 長	波多野 想	琉球大学 島嶼地域科学研究所 教授
副会長	宮 里 武 志	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 デザイン工芸学科 教授
	金 城 春 野	琉球大学 工学部 工学科 建築学コース 助教（今村金城建築設計事務所）
	田 中 毅	沖縄弁護士会 弁護士（大田・田中法律事務所）
	伊良波 朝 義	NPO法人 首里まちづくり研究会 理事長（有限会社 義空間設計工房 代表取締役）
	宮 城 讓 二	あけもどろ緑の会 元会長（有限会社 宮城錦水園 代表取締役）
	古波蔵 健	NPO法人 沖縄の風景を愛さずる会 理事（株式会社 朝日建設コンサルタント 技術顧問）
	吉 浜 博 子	那覇伝統織物事業協同組合 理事長
	木 下 能里子	株式会社 国建 まち・しまデザイン部 部長（首席研究員）
	中 園 幸 樹	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 公園・まちづくり調整官
	慶 田 康 成	沖縄振興開発金融公庫 業務統括部 部長
	金 城 新 吾	沖縄県 土木建築部 建築都市統括監
	山 藤 浩 二	沖縄県広告美術協同組合 理事（有限会社 エーツーサイン）
	名嘉元 裕	一般社団法人 那覇市観光協会 事務局長

（順不同・敬称略）

第22回 那覇の景観賞 応募要項

〔趣旨〕

本市では、「亜熱帯庭園都市なは」の景観をまもり、そだて、つくりだし、親しみと愛着と誇りある都市景観を創出するため「那覇市都市景観賞」を設け、素材や形態の豊かな表現、緑の演出などでうまいと風格のある都市景観に調和した街並みを形成している魅力的な物件等に対して表彰を行っています。都市景観賞をとおして、市民・事業者の皆様の都市景観に対する関心が高まり、次世代に受け継ぐ魅力的な那覇の都市景観が実現されることを期待しています。

〔応募部門・対象〕

○那覇市内において、優れた都市景観の形成に寄与している物件などで、次のものが対象となります。

＜小さな建物部門＞…比較的小規模な建築物やその外部空間

＜大きな建物部門＞…小さな建物部門に該当しない建築物やその外部空間

＜まちのインフラ部門＞…社会基盤となる土木施設

＜すてきな広告部門＞…店舗や事業所等に表示・設置される屋外広告物

＜風景まちづくり部門＞…すてきな風景やそれを支える地域の活動など

〔応募期間〕

○2024(令和6)年6月3日(月)～同年7月31日(水)

〔応募・推薦方法〕

○自薦・他薦は問いません。

○カラー写真2葉(遠景及び近景)を添付し、必要事項をご記入の上、応募フォーム、Eメール、郵送または持参にてご応募ください。

〔応募資格〕

○どなたでも応募できます。

〔選定方法〕

○本賞の趣旨、理念に基づく評価の視点を選考基準とし、那覇市都市景観審議会にて審査・選定いたします。

— 周辺景観との調和 —

周辺街並みへの配慮、敷地内の緑化、歴史・文化を活かした景観づくりなどについて評価します。

— 地域社会への配慮 —

周辺地域に対し良い影響を与えている、市民の景観意識に効果的に寄与したかなどを評価します。

— 総合的なデザイン —

対象物単体の意匠、形態、色彩、材質など、デザイン全般について評価します。

〔発表・表彰〕

○2024(令和6)年11月7日(木)

表彰は、原則として表彰作品の所有者、設計者及び施工者、活動主体などに対して行います。

第22回 2024（令和6）年度



小さな建物部門



83 彦本店

（おもろまち 4-15-3）

所 有 者：株式会社 彦

設 計 者：－

施 工 者：－

新都心エリアの商業街区に位置する、切妻屋根に赤瓦葺きのデザインが特徴的な店構えの日本料理屋の庭園は、店主が自ら丹念に手入れを行っており、沿道の生垣は、豊かな緑を保ちながら美しく整えられている。この生垣は、料理を楽しみに訪れるお客へのおもてなしだけではなく、道行く人々に潤いと安らぎを提供しており、このエリアにおける貴重な緑化空間として、大きな役割を果たしている。



大きな建物部門



84 首里染織館 suikara

（首里当蔵町 2-16）

所 有 者：那覇伝統織物事業協同組合

琉球びんがた事業協同組合

設 計 者：有限会社 義空間設計工房、建築設計室ant

施 工 者：株式会社 東恩納組

首里歴史エリアの景観形成地域である龍潭通り沿線地区に、琉球びんがた・首里織の魅力を発信する拠点施設として整備された首里染織館は、伝統的な寄棟赤瓦葺きの品格漂う外観の建物となっている。外構は、染織の原料となるフクギや芭蕉で緑化されている。将来、龍潭通りが琉球石灰岩で舗装されることを見越し同じ仕上げとするなど、細かな配慮が見られ、首里の景観形成の手本となっている。



まちのインフラ部門



85 三重城ふるさと海岸遊歩道

（西 3 丁目地内）

所 有 者：那覇港管理組合（平成13年度竣工）

設 計 者：－

施 工 者：－

三重城ふるさと海岸遊歩道は、静かな波際の音を聞きながら、美しい夕日を眺めることができ、琉球王朝時代の三重城の防壁が近くにあったことから、文化・史跡を一体的に感じることができるウォーターフロントとして整備された、隠れた名勝地である。護岸が単調にならないよう、琉球石灰岩の丁寧な乱積みが施され、植栽帯が設けられるなど、自然的・歴史的な魅力を最大限に引き出す工夫がなされている。



すてきな広告部門



86 栄椿の外観

(首里儀保町 1-36)

広告主：栄椿(えいちん)

デザイン：ー

施工者：ー

首里歴史エリアの住宅街に位置する琉球カステラを販売する店舗は、昔ながらの沖縄の木造赤瓦屋根の住宅を改修したもので、玄関口には白色の暖簾が掛けられている。この暖簾には、実は長さが異なる二種類があり、風の強い日や雨の日によって使いわけがされ、ささやかな変化を楽しむことができる。さらに、道路沿いの塀から溢れるクロトンなどの沖縄在来の樹木が、街並みの景観向上に寄与し、まちの魅力を高めている。



風景まちづくり部門



87 天妃フラワーパーク

(久米 1-1)

所有者：沖縄県

活動団体：久米1丁目自治会

泉崎交差点に位置する天妃フラワーパークは、琉球王朝時代に久米村の南口の大門(ウフジョー)があった場所で、風水上、村全体を龍と見立てた際に龍頭にあたる場所であったことから、地元の方々が現在の三角広場を龍の顔に模した植栽で緑化している。緑の広場は、観光客の目を喜ばせるだけでなく、都会のオアシスとしても機能している。このような、歴史を感じることができる場所を大切に守り続ける美化活動は、景観まちづくりの可能性を感じさせる取組である。

《審査総評》

「那覇の景観賞」は、都市景観に対する市民の意識を高め、那覇の景観向上を図ること目的に創設されたもので、今回で第22回目を迎えました。毎回、<小さな建物部門><大きな建物部門><まちのインフラ部門><すてきな広告部門><風景まちづくり部門>の5部門で公募を行い、今回は82件の応募がありました。その中から「那覇市都市景観審議会」において、個々の魅力が地域の優れた都市景観の形成に大きく寄与していると高く評価しました5作品を選定しました。

今後も、多くの市民が那覇の美しい景観づくりに対する関心をさらに高め、各地域でまちづくりへの積極的な取り組みがひろがることで、「亜熱帯庭園都市なは」としての魅力が一層高まることを願っています。

那覇市都市景観審議会会長
波多野 想(琉球大学 島嶼地域科学研究所 教授)



第1回 1986（昭和61）年度



① 開南小学校児童による美化活動

（泉崎1-1-2）

所有者：那覇市
設計者：那覇市
施工者：（資）なか工務店
地域の団体：開南小学校

県庁と那覇市役所・開南小学校間のコミュニティ道路（市道泉崎7号）は、道路沿いの開南小学校児童5年生が毎朝清掃を行い、その美化活動は先輩から後輩へと引き継がれて行われている。



③ 首里金城町の慶田氏住宅

（首里金城町3-22）

所有者：慶田富美
設計者：不明
施工者：不明

県指定文化財の石畳道に面し、古い石垣を修復。石垣頭を瓦石垣シッキイカベ仕上げとするなどの配慮がなされ、石垣と屋根付門そして住宅の赤瓦屋根へと連続する形態や色彩は歴史的風土に溶け込んだ美しい景観をつくりだしている。



② 琉球放送会館 ※

（久茂地2-3-1）

所有者：（株）琉球放送
設計者：（株）国建
施工者：（株）大林組

国道58号に面した事務所ビルで、道路側の1階から2階部分に広場を設け、日常、自由に通行・利用可能な計画がなされ、特に同敷地前で行われる那覇大綱挽では立体的な栈橋として利用されている。

第2回 1987（昭和62）年度



④ OTV國和プラザ

（久茂地1-2-20）

所有者：国和不動産
（株）OTV国和プラザ管理組合
設計者：（株）国建
施工者：（株）国場組

高度化が予想される中心業務地区において、オープンスペース（公開空地）を積極的に取り入れ、彫刻を設置し、また、建築デザイン色彩等の配慮も良好的な地区環境づくりの一躍になっている。

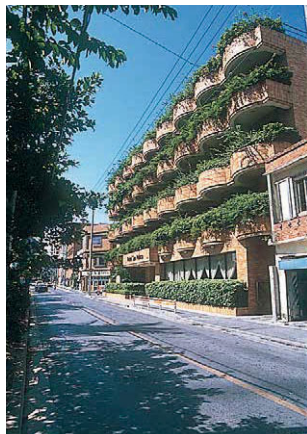


⑤ （株）琉球銀行本店前ポケットパーク ※

（久茂地1-11-1）

所有者：（株）琉球銀行
設計者：（株）琉球銀行
施工者：（株）琉球銀行

バス停に隣接して小公園として、バスを待つ市民や通行人らに対し、やすらぎと親しみを与える景観を創り出している。また、造作、手入れの気くばりもあり、小さな空間でありながら市民サービスに大きく寄与している。



⑥ ホテルサンパレス ※

（久茂地2-5-1）

所有者：（有）ホテルサンパレス
設計者：（株）国建
施工者：清水建設（株）沖縄営業所・（株）国場組

久茂地川の流れと川岸のデイゴ並木等の豊かな緑と一体となって、テラスの緑化は、ビルの立ち並ぶ地区にさわやかな景観づくりとして優れている。



⑦ 城西小学校

（首里真和志町1-5）

所有者：那覇市
設計者：アトリエファイ建築研究所
施工者：（株）屋比久建設・（有）友善組・（有）宮平組

琉球の代表的文化遺産を有する地区において、歴史風土環境にマッチした景観ポリシーを組み立て、赤瓦を配する等、児童や地域の人々に愛され親しまれている。

第3回 1988（昭和63）年度



8 首里金城町の 當真氏住宅

（首里金城町2-9）

所有者：當真嗣起
設計者：山里銀造
施工者：金秀建設（株）

首里金城町の歴史的な景観を有する地において、在来の屋敷構え及び建築様式を配慮しつつ住宅の改築を行い、周辺環境にマッチした地域にふさわしいたたずまいを創り出している。



9 開南せせらぎ通り 会の美化活動 ※

（樋川2丁目・松尾2丁目・
県道真地・久茂地線開南区間）

所有者：沖縄県
設計者：沖縄県
施工者：多嶋建設（株）・
（株）大原建設・
（株）グリーン開発
地域の団体：開南せせらぎ通り会

湧水を利用し、せせらぎを道路にみちびき、水性植物、淡水魚、熱帯花木を配した個性ある道路空間を実現。さらに通り会によって維持、管理等の美化活動がなされ、美しい道路景観づくりに著しく寄与している。



10 旧首里トロピカル ガーデン ※

（首里桃原町1-12）

所有者：尚詮
設計者：尚詮
施工者：（資）桃原農園

古都首里のイメージとしての古い石垣を修復、復元した石垣沿いに草花を配して道沿いに華やかさを創り出している。また、屋敷林は歩道をおおい、緑陰による落着きを周辺地域に与え、通行人やドライバーにも親しまれている。

第4回 1989（平成元）年度



11 明治橋

（旭町・奥武山町）

所有者：沖縄開発庁・
沖縄総合事務局・
南部国道事務所
設計者：前田屋外美術（株）
施工者：竹中土木（株）
沖縄営業所・
（株）国場組

那覇の表玄関にふさわしい風格のある橋の景観づくりとして親柱に龍頭を据え、高欄、橋上バルコニー、街灯のデザインに配慮され、歩道のカラータイル舗装橋詰広場は美しい橋の雰囲気づくりに優れ、来訪者には沖縄、那覇を印象づけるものであり、地域のランドマークとなっている。



12 沖縄都ホテルの門 ※

（字松川40）

所有者：沖縄観光開発（株）
設計者：清水建設（株）
施工者：清水建設（株）
沖縄営業所・
（株）国場組

ホテルのゲートにあって彫刻的な趣のある造形が目をはく。巨大な門ではあるが、威容さを誇示することなく控えめに配されコンクリートの素材を和らげるように生け花やつる草が周囲を取りまき、みごとに調和している。首里へ至る道路沿いにある、歴史的環境を予感させる優れた景観である。



13 壺屋の新垣氏 住宅と附属屋

（壺屋1丁目28-32）

所有者：新垣和子
設計者：不明
施工者：不明

陶器の里「壺屋」にあって、壺屋焼きが県民、そして広く観光客に親しまれているように、壺屋を語る上で欠かせない建築物である。石垣、しっくい壁、赤瓦の屋根、そしてシーサーが屋敷林と相まって豊かな歴史的環境をとどめ、那覇の観光ポスターを飾るなど、壺屋を象徴する景観である。



14 末吉リバーサイドテラス

（首里末吉町1-175-10～14-188-25～35）

所有者：白石武之・小山雅也・渡慶次一三・
白石武博・具志堅国雄・伊芸徹・
白石丞子・湧川誠治・喜納政信・
林陳雲貞・有銘兼裕・玉城和明・
中村三鶴・町田 操・宮城 孝・
渡嘉敷真兄
設計者：仙田満・（株）白石・
（株）環境デザイン研究所
施工者：勝浪工務店

道路と敷地の境界は芝生や草花で緑化され、近隣のコミュニティ空間として広がりとうるおいのある住環境を形成している。連棟式の低層集合住宅の計画で連なる赤瓦の勾配屋根は建築物に表情をつくり、首里末吉の森を背景に地区の風致をより高め対岸の末吉公園からの景観も優れている。

第5回 1990（平成2）年度



15 ホテル西武オリオン 壁面ディスプレイ ※

（安里1-2-21）

所有者：（株）ホテル西武オリオン
設計者：（株）トライ
施工者：（株）美芸工房

四季折々に装いを替える壁面ディスプレイ年末にはモミの木に飾るクリスマスのイルミネーション、来訪者を暖かく迎え玄関を彩るカラフルな旗など、国際通りに面した壁面の一体的デザインは、ホテル利用客だけでなく通りを歩く人たちの目も楽しませ、通りに活気を与えている。



17 久茂地セントラル ビル公開空地 ※

（久茂地1-3-1）

所有者：セントラルビル管理（株）
設計者：松尾建設（株）
施工者：松尾建設（株）

快適性に欠ける都市部において、業務建築にとって重要な部分である1階部分を公共のスペースとして市民に提供し、道行く人々にうまいとやすらぎを与えることは高く評価できる。公開空地の路面仕上げは歩道にまで及び、「私」と「公」が1つの空間として整備された好例である。



16 パークシティ泉崎 ※

（久茂地1-4-13）

所有者：（有）ぐしくま
設計者：設計集団 閃
施工者：松尾建設（株）

これまでの立体駐車場は、どちらかといえば機能重視で無味乾燥なものが多かったが、パークシティ泉崎は都市景観に配慮した美しいデザインが施され、久茂地地区のランドマーク的存在になっている。これは、今後の立体駐車場建設に多大な示唆を与えるものであり、その波及効果に期待したい。



18 小禄南公民館・ 図書館 ※

（高良22）

所有者：那覇市（教育委員会）
設計者：グループ24・設諸・設計同人GAN
施工者：三建建設・平昌組

地域のコミュニティの核となる施設だけに、施設の中央に設けられたオープンスペースに対して屋根を階段状に後退させ緑を配したことによって、ヒューマンスケールの施設づくりに成功しているとともに、形態的にも景観的にも地域の核としてふさわしいものになっている。

第6回 1991（平成3）年度



19 ニッセイ那覇センタービル （久茂地1-14-5）

所有者：日本生命保険相互会社
設計者：日本生命保険相互会社・清水建設（株）
大阪支店一級建築士事務所
施工者：清水建設（株）・（株）国場組

国道58号と県道の幹線道路に面し、都心業務地区に建つ高層ビルは総合設計制度による公開空地に彫刻を配するなど表情豊かなオープンスペースが整備され、シンボリックな外観を形成している。



20 旧メルパルク・ ガーデン ※

（首里坂下）

所有者：沖縄郵便貯金会館
設計者：（有）西原農園
施工者：（有）西原農園

首里坂下の県道に面し、道路沿いに連続する植栽の中央部を庭園として整備したもので、沖縄在来の樹種が配植された景観は通りをうまいと彩りをそえ、会館利用者をはじめ通行人、通過車両のドライバーの目を楽しませている。



21 沖縄県立芸術大学 一般教育棟・音楽棟

（首里当蔵1丁目）

所有者：沖縄県
設計者：（株）石本建設事務所・（有）二基設計・（株）近代設計
施工者：三善建設（株）・（株）都建設・（株）丸平組・（株）下地建設

首里の歴史的地区の中核をなす施設として伝統的な屋根材を現代的デザイン要素に取り組み歴史を継承し、軒の深い庇とマスブロックの効果的な組み合わせにより、光との陰影を強調するなど独特の雰囲気をもたせている。



22 新垣公子氏住宅

（字古島162-3）

所有者：新垣公子
設計者：（名）ライフ設計事務所
施工者：安里建設工業（株）・（株）グリーン開発

整然とした区画整理地区内で、地形の高低差をうまく活かし、擁壁、植栽を効果的に組み合わせ傾斜屋根の建築デザインを含めて周辺環境と融和した住宅である。

第7回 1992（平成4）年度



23 首里儀保交差点 ミニパーク ※

（首里儀保町3丁目）

所有者：沖縄県
設計者：－
施工者：－
地域の団体：首里儀保町3丁目
「護美の会」
代表 花城清剛

古都首里の三大交差点の持つ景観上の重要性を地域住民が理解し、公共空間をうまく使いこなし住民の自主的街づくりの好例である。花木の植栽やプランターによる花いっぱい運動、ゴミの分別による堆肥づくりなどの様々な取り組みにより交差点の美化を図っており、地域のミニパークとして親しまれている。



24 名渡山工芸館の 壁面緑化 ※

（首里儀保町4-79-3）

所有者：名渡山愛蔵
設計者：－
施工者：－

全体を緑でつつみ込んだ建築物と、全面に広がった緑の擁壁の威圧感を軽減するとともに潤いも提供している。また、隣接する末吉の風致地区に対しても配慮しており、周辺環境に調和した景観づくりがなされている。



25 パレットくもじ

（久茂地1-1-1）

所有者：パレットくもじ管理組合
設計者：(株)アール・アイ・エー九州支社・
(株)国建・沖縄県建築設計監理共同組合・
(有)宮平建築設計事務所
施工者：(株)国場組・南洋土建(株)・
(株)大木建設・丸善建設(株)・
(株)吉田組・前田建設(株)・
(資)野里組(株)前川・國幸興発(株)・
(有)豊造園(資)宮城錦水園・
(株)日興建設コンサルタント

県内初の再開発ビルとして1991年3月に完成し、名称も市民公募で選ばれたパレットくもじは、商業ビルとしての機能は勿論のこと、市民が親しく利用できるように開放的な施設づくりがなされている。そして、建物を壁面後退することによって、都心部では貴重なオープンスペースを市民に提供しており、地域社会への配慮が伺える。



26 小禄金城公園

（小禄金城区画整理87街区）

所有者：那覇市
設計者：原広司+アトリエファイ建築研究所・
(株)三協土木設計
施工者：(有)勸建設・(有)郷建設・
(有)久田緑化造園・
(株)仲吉組・(有)山仲建設・
(株)新光土建

米軍接収以前にあった旧金城部落の御嶽を保存し、その足元には当時の集落をイメージさせる東屋を配置している。また、旧金城部落は水の豊富なところであったことから、公園の周囲に地下水を利用したせせらぎをまわしており、この地の歴史・文化を踏まえたこの場に相応しい景観を創っている。

第8回 1994（平成6）年度



27 安村医院

（泉崎2-14-7）

所有者：安村浩
設計者：－
施工者：－

区画化された住宅街に、建物に工夫をこらし、亜熱帯植栽をほどこして、地域に潤いを与えている。道行く人を立ち止まらせるほど、明るく健康的な空間が親しみの持てる景観をつくり出している。



28 壺川東市営住宅の 緑地及び公園

（壺川284）

所有者：那覇市
設計者：那覇市・(株)三協土木設計
施工者：(有)丸金建設・(有)丸健建設・
(有)みね造園・(有)勸建設・
(有)正吉建設・(株)吉田組

古井戸を再利用したせせらぎやガジュマルの大木などの既存木を生かした整備は、人々に自然の休憩所を与え、安らぎの場となっている。この空間の完成により、市営住宅だけでなく、その周りに落ち着きのある場が提供され、この地域全体が活性化されている。



29 安田生命那覇ビル

（松山1丁目1-19番地）

所有者：安田生命相互保険会社
設計者：(株)国建
施工者：(株)国場組

那覇市で最も交通量の多い久茂地交差点に建ち、緑、ベンチ、オブジェなどを配したオープンスペースを設け、日陰や雨宿りができるやすらぎを感じさせる場を提供している。さらに高層建築物の屋根にデザインを施し、シンボルロードに沿った交差点に相応しい特色あるスカイラインを演出している。



30 那覇市空港通りの 街路空間 ※

（国道332号線沿い）

所有者：沖縄県総合事務局南部国道事務所
設計者：(株)国建
施工者：(株)大城組・鹿島道路(株)・
大成ロテック(株)・
沖縄建設工業(株)・
(有)新垣土建・(資)桃原農園・
(株)三倉造園緑化・
(有)宮里農園

琉球石灰岩と亜熱帯花木の植栽でつくられた街路空間は、沖縄の気候風土・歴史を考慮したつくりとなっている。この街路空間は、沖縄のゲート空間として、ここが亜熱帯であることを訪れる人々にアピールしている。



**31 琉球生コン(株)の
塀と工場緑化 ※**

(古島29番地)

所有者：琉球生コン(株)
設計者：—
施工者：コラム建設工房

道路に面した塀に、ツル性植物による緑化を図り、魚が泳ぎスレソンの花が咲かせせらぎの設置等、交通量の多いこの地区の中にやすらぎと潤いを生み出している。それは、この工場で働く人達の持続的で根気のいる美化作業によるもので、地域の模範となっている。



**32 裁判所通りの
アカギ並木 ※**

(県道221号線)

所有者：沖縄県
設計者：—
施工者：(有)前原造園土木・
(資)桃原農園

うっそうとしたアカギ並木によって、緑のトンネルを思わせる美しい道路空間を造り出し、この並木通りを通る人々にゆとりと快適感を提供している。



33 上原信男氏住宅

(小禄1-13-12)

所有者：上原信男
設計者：上原信男
施工者：比嘉正建設

戸建て住宅や、中高層のアパート等が立ち並ぶ地域にあって、この住宅は、深い軒と庇、壁面と屋上の緑化等、沖縄の気候を意識した造りで、門廻りの植え込みやヒンブン等とうまく調和している。また、生垣や花木が道行く人達の目を楽しませている。



34 琉球料理 美栄

(久茂地1-8-8)

所有者：古波蔵保好
設計者：栗国公順
施工者：豊山山正市

赤煉瓦に白い漆喰の壁、琉球赤瓦で葺いた屋根と門や在来の黒木・桜・クロトン等の植栽に見られるように、琉球の伝統様式を重んじた木造建築である。そのため、高層ビル等が林立する地域にあって気持ちをなごませてくれる貴重な景観を形成している。



**35 首里山川町の
高嶺氏住宅 ※**

(首里山川町1丁目43番地)

所有者：高嶺彰
設計者：(有)現代設計
施工者：田港組

首里らしさがなくなりつつある首里地区にあって、特に山川大通り(県道28号線)は中高層のマンションが建つなかで、既存のガジュマルを残し、石垣・生垣・木戸・赤瓦屋根など、首里らしい佇まいにデザインされている。そのため、古都首里に相応しい建築であり、歴史的景観を形成している。



**36 金秀ビルの
公開空地と遊歩道 ※**

(旭町27番地)

所有者：(株)金秀本社
設計者：(株)国建
施工者：金秀建設(株)

ビル前面の公開空地と区画整理事業で整備された遊歩道との一体となった緑の演出は、交通量の多い旭町交差点付近において快適な都市景観を創り出している。ビル前面の公開空地にはイス・テーブルが置かれ、高木や亜熱帯植物が植えられ、日頃から手入れも行き届いており、市民の憩いの空間になっている。



37 JA真和志農協本店

(寄宮3-10-1)

所有者：真和志農業協同組合本店
設計者：沖縄県経済連施設管理課
施工者：大成建設(株)・
南洋土建(株)・
大木建設(株)・JV

狹隘道路に囲まれた当該建物は、敷地の周囲に高木などを植栽し、建物のボリューム感を柔らげるとともに、緑陰により周辺地域に潤いを与えている。また、敷地の一部を歩道空間として地域に提供するとともに、歩道空間と敷地を一体的に緑化することによって、潤いのある落ち着いた雰囲気周辺地域に与え、地域住民から親しまれている。



38 首里当蔵郵便局

(首里当蔵町2-11番地)

所有者：沖縄郵政管理事務所
設計者：沖縄郵政管理事務所施設室
施工者：光建設(株)

首里城下町のメイン通りに位置する当蔵郵便局は、首里の歴史的景観に調和した美しい現代建築であり、当蔵大通り(龍潭通り)の今後の街並み景観づくりの手本となる公共建築である。



39 那覇空港国内線ターミナル

(鏡水306-1)

所有者：那覇ビルディング株式会社
設計者：安井・宮平設計共同企業体
施工者：(株)国場組・大成建設(株)・
(株)大木建設・(株)仲本工業・
(株)善太郎組共同企業体・
(株)大城組・三井建設(株)・
日航建設(株)・大晋建設(株)・
(株)東開発共同企業体

白いなめらかな曲線を描くルーファインは、現代的デザインで美しく、南国の青い空によく調和している。エントランスロビーと弧を描きながら上がって行く高架道路との組み合わせは、「空の玄関」として訪れる人を気持ちよく迎え入れる美しい景観を創りだしている。



40 壺屋やちむん通り

(壺屋)

所有者：那覇市
設計者：壺屋やちむん通り会・
安藤徹哉・小野啓子・
(株)ダイワエンジニアリング
施工者：(株)長間組・(株)金城組

やちむんの里壺屋において、地域住民が主体となって歴史を感じさせる街づくりを行った好事例である。「古くなるほど味わいのある道を」との思いによって造り上げられた通りを中心に、それぞれの店や家々でも緑化への関心がもたれ美しい景観づくりを行っている。



41 田原公園の水辺空間(カスケード) ※

(田原3-4-1番地)

所有者：那覇市
設計者：琉球建設コンサルタント(株)
施工者：国幸興発株式会社

急速に宅地化してゆく区画整理地域にあって開放的なこの公園は、人々に自然と親しめる潤いのある空間を提供している。特に、豊かな地下水を利用した親水性水辺空間(カスケード)は、水面に遊ぶ子供たちの元気な歓声とともに活き活きとした景観を創りだしている。



42 沖縄県立看護大学

(与儀1-24-1)

所有者：沖縄県
設計者：(有)アート設計・
(株)盛設計・
(合)我那覇設計事務所
施工者：(合)野里組

市街地にあって、前面道路と建物の間に広々とした空間をとり、建物の圧迫感を和らげる配慮がなされている。道路沿いに設けられた琉球石灰岩の石垣と広い緑の庭は、道行く人に安らぎのある空間を提供している。



43 城岳小学校松並木通り

(楚辺)

所有者：那覇市
設計者：—
施工者：株式会社丸真組

松並木として整備された城岳の馬場道は、いにしへの頃に草競馬を楽しんだ場所であり、その歴史を今に伝える景観を創りだしている。そしてすっかり成長した松並木のトンネルは道行く人にやわらかな日差しと心地よい風を与え、近隣の人々にも愛され親しまれるやすらぎの空間を演出している。



44 赤嶺邸

(宇栄原3-9-11)

所有者：赤嶺正雄
設計者：設計同人GAN
施工者：株式会社善太郎組

歩道沿いの擁壁に琉球石灰岩を用いる事で沿道空間に風格を演出し、石垣の上からあふれ出るような植栽は程良く手入れされ、落ち着きとおもむきのある景観を創っている。



45 宇久増橋

(古島)

所有者：沖縄県
設計者：上城技術情報
施工者：株式会社東江建設
施工者：嘉数工業

沖縄の鉄道は、大正3年から30年間走りつづけたとされています。ここでは、嘉手納線が走っていた鉄橋のあった場所で安謝川の改修工事をきっかけに、軽便鉄道をイメージした高欄が整備されました。木は枕木を、鉄は車両と車輪を表現しすっきりとした中にも、軽便鉄道の力強さをも感じさせるデザインは、字名を橋名に取り入れたことを含め、地域や行き交う人々にさりげなくノスタルジックな場面を提供してくれています。

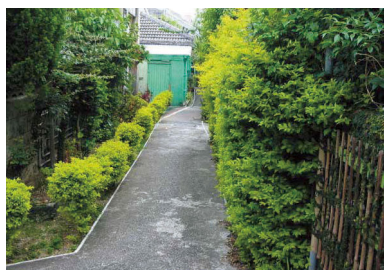


46 金城ダム

(繁多川4丁目)

所有者：沖縄県
設計者：アイ・エヌ・エー
施工者：竹中土木九州支店
施工者：丸元建設

斜面緑地の谷間を利用して整備された金城ダムは、琉球石灰岩がふんだんに使われ、また周辺の自然緑地との一体的な整備が行われており首里地区に配慮した景観を創りだしている。ダムの外周には、見通しのきく安全な散策路が整備され、開放感のある気持ちの良い水辺空間を提供してくれている。



**47 首里当蔵町2丁目の
スージ緑化活動 ※**

（首里当蔵町2丁目）

所有者：－
設計者：幸地長次
施工者：幸地長次

首里芸大横のスージ小(路地)を花壇、生け垣等で緑化し、潤いと癒しの景観を創り出している。スージ小(路地)の緑化を図るという草の根的活動であり、そこに「まちづくり」の原点をかいま見ることが出来る。



48 首里金城村屋

（首里金城町2丁目7番地）

所有者：那覇市
設計者：東設計工房
施工者：金秀建設

首里金城村屋は、沖縄の伝統的な住居建築を基にした純木造建築である。また、金城村屋は首里金城町において歴史文化と景観に配慮すべき地域のモデル建築物となっている。そして、地域住民の集会所、観光客の休憩所として愛され親しまれている。

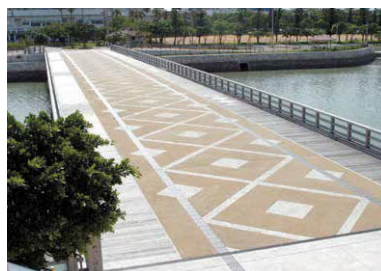


49 バス停識名園前

（真地）

所有者：那覇市
設計者：都市建築設計
施工者：北盛建設

木、鉄、石などが持つ素材感と緑が、識名園及び周囲の景観と調和し、軽やかで涼しげな雰囲気を創り出している。また、バス停と自治会広場が一体となり地域や観光客の休憩所として、親しまれ、安らぎのある空間を提供している。



50 北明治橋

（字壺川・奥武山）

所有者：沖縄県
設計者：国建
施工者：國場組・
小橋川技建

北明治橋は、那覇が浮島だったところの木橋の明治橋を想起させ、ゆったりとした時間と空間の中で水辺の移り変わりを眺め、楽しませるという親水性の効果を創り出している。また、壺川地区と奥武山公園をより一体的で身近なものとし、そして壺川駅の利便性も高め、地域のまちづくりへの貢献度も大きい。



51 クレセント石畳道

（天久1-16,17）

所有者：那覇市
設計者：安藤徹哉、小野啓子
（旧アンドノ・ワークショップ）
施工者：恵友建設
地域の団体：天久クレセント会房

沖縄の歴史的町並みに見ることのできるスージグラーを模した歩行者専用道路である。交差点に住民の交流の場となるガジュマルを植えたチンマーサーを設けるなど、沖縄の伝統・風土に調和した景観を形成している。自治会の定期的な清掃活動によって、美観が保持されている。



52 マリア保育園と教会

（安里3-7-1）

所有者：宗教法人
カトリック沖縄教区
設計者：根路銘設計
施工者：丸元建設

木々に囲まれたコンクリート打放しと赤瓦の外観が、沖縄風のコントラストを演出している。モノレール車窓からの眺望が特に良く、緑のじゅうたんを敷き詰めたような芝生の広場が心地よい景観を提供している。



**53 宇栄原3丁目の
赤嶺家のヒンピン**

（宇栄原3-10-17）

所有者：赤嶺和雄
設計者：設計同人GAN
施工者：善太郎組

沖縄の伝統的建築の屋敷囲いに数多く見られるヒンピンの中でも、特に緑の屋敷林と石垣に囲まれた様は、威風堂々とした佇まいを醸し出している。石積の隙間から生え出ているオオタニワタリやクワズイモも、沖縄の風土を表現したものとなっている。



**54 豊見城邸の石垣と
屋門**

（首里寒川町1-17）

所有者：豊見城盛隆
設計者：金秀建設
施工者：金秀建設

古都首里の中でも、特に歴史的な赴きを感じさせてくれる昔ながらの石垣と屋門である。赤瓦屋根の屋門の両辺を布積みと相方積みの石垣が巡り、首里金城地区都市景観形成地域の象徴的存在として、地域の景観に対する貢献度も高い。



**55 (資)山城生コンの
緑道空間**

(字銘苅183)

所有者：(資)山城生コンクリート工業
設計者：(株)総合計画設計
施工者：(株)沖縄庭芸

敷地全体と屋根の緑化に加えて、歩道側を緑地帯とすることで街路樹と合わせた緑のトンネルをつくり緑陰のバス停ベンチを提供している。緑化は敷地内を流れる安謝川護岸までをつつみ、かつての水と緑に恵まれた風景を思わせる一帯である。長年の丁寧な取り組みが高く評価される。



56 ニューライフチャペル

(具志3-16-33)

所有者：日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ニューライフチャペル
(那覇アッセンブリー教会)
設計者：ベン設計工房
(株)プランネット
施工者：琉盛工務店

反射硝子の青と、信者が参加して積まれた石積み状の外壁が三角屋根の明確な輪郭によって強い印象を与える。擁壁部の構造物を含めた空間構成は、芝生の庭から前面道路側に開かれており、区画整理区域の住宅街のランドマークの一つとなっていくことを予感させる。



**57 那覇第2地方
合同庁舎1号館**

(おもろまち2-1-1)

所有者：沖縄総合事務局
設計者：沖縄総合事務局
開発建設部
(株)国建
施工者：佐藤工業株式会社
九州支店
(株)國場組

壁面、屋上、開口部回りから周囲のパーゴラや沿道部まで、質の高い緑化を行うことによって、緑のカーテンにつつまれた建物となっている。樹種の選択、緑のボリューム感、竣工以来継続されている質の高い手入れは、今後の都市建築、公共建築のあり方を示唆するものである。



**58 Tida Cafe
おもろまち店 ※**

(天久1-9-1)

所有者：(株)ニック
設計者：(株)巨設計集団
施工者：(株)キャリア・プラン

カフェの庭を誰でも自由に通り抜けられる小径とし、街中のオアシスの存在をつくりだした。新しいビルの並ぶ一画にあって、低層のアイボリーの建物と樹種の各々の形態を生かした自然な緑の空間で花やハーブの香りを楽しめる。商業空間が都市の景観を豊かなものとしている好例である。



59 壺屋の路地と生垣

(壺屋1丁目)

所有者：－
設計者：－
維持管理：壺屋やちみん通り会
城間 裕・城間 康希

歴史的環境を残す壺屋地区の一画にあり、ゆるやかに曲がる細い道に沿った石垣とツタ、生垣と沿道の樹木が地域住民の手によって維持管理されている。剪定、清掃等がきちんと行われており、細かに表情を変える緑の連続が往時のスーヅグラーの空気を感じさせる。



**60 沖縄職業総合庁舎の
沿道空間**

(おもろまち1-3-25)

所有者：①沖縄職業総合庁舎
②沖縄県
③独立行政法人雇用・能力開発機構沖縄センター
④独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
沖縄障害者職業センター
設計者：沖縄総合事務局 開発建設部
株式会社 国建
施工者：株式会社フジタ九州支店

建物の敷地内の空間を歩道と連続させ木陰とベンチを配置することで、建物利用者や歩行者も心地よい休息が可能な空間をつくっている。アルコープ状に建物側へ深く呼び込むような広がりがあり、公共施設による地域景観への貢献の一つのモデルとなるものである。



**61 玉那覇味噌醤油工場の
石垣とツタ**

(首里大中町1-41)

所有者：有限会社 玉那覇味噌醤油
設計者：不明
施工者：不明

伝統的な面影を残す味噌醤油工場を精巧な相方積みの石垣が囲み、石垣を覆うツタが坂道の通り景観にうるおいを与えている。古い首里の町並みを感じられる場が少なくなる中、琉球王府時代から引き継がれたと思われる長大な石垣が維持されていることは貴重である。



62 珈琲専科に～ちえ

(字古波蔵390-5)

所有者：珈琲専科に～ちえ
設計者：－
施工者：－

建物全体を包む緑が静かで落ちついた喫茶店の店舗を演出するとともに、周囲の環境を豊かにする存在として時を重ねている。手入れされた植栽は建物前面から道路との接点、後ろからのアプローチや側面、並びに上部までをおおっており、地域景観への細やかな配慮が示されている。



63 さいおんスクエアの外部空間

（安里2丁目-1）

所有者：①沖縄県
②さいおんスクエア管理組合
設計者：牧志・安里地区市街地再開発組合
施工者：牧志・安里地区市街地再開発組合

民間と行政の協働による再開発事業により、安里川の治水の実現とともに中心市街地における新たな水と緑の景観が作りだされた。河川と施設のオープンテラスが一体となった水辺から周囲の広場や歩行路へと連なった外部空間は、新たな市民の憩いの場となっている。



64 小禄南の雨水路・遊歩道整備 ※

（小禄4丁目、5丁目）

所有者：那覇市
設計者：（株）南城技術開発
施工者：－

住宅地の間を流れる水路に遊歩道を設けて親しみと潤いのある水辺空間を創出している。木製の階段や柵を設けるとともに、歩道を琉球石灰岩張りで仕上げ、際に植栽を施したことにより、無機質になりがちな水路を水辺の散策路として良好に整備した事例である。



65 天久1丁目の沿道空間

（天久1-13、14、16、17）

所有者：－
設計者：独立行政法人 都市再生機構
維持管理：天久ピアザ自治会

区画整理地区内において住環境に関する独自のルールを定め、地域住民による緑化と管理の取り組みが継続されることによって緑豊かな住宅地の景観が作りだされている。潤いのある沿道空間は、開発当初の景観づくりの目標が地域のコミュニティによって達成されてきたことを示している。



66 瑞泉酒造の壁面緑化

（首里崎山町1-35）

所有者：瑞泉酒造（株）
設計者：－
施工者：－

酒造所は閑静な住宅街に位置し、建物の壁面や石垣をアマミツタなどで緑化することにより、古都首里の町並みに馴染んだ景観を維持している。緑と石垣、趣のある木製看板や建物の風情が一体となって周囲の歴史的環境の一環を形成している。

《屋外広告物部門》



67 首里赤田の観光案内板

（首里赤田町2-14番地）

広告主：照屋 寛孝
デザイン：仲宗根 恒
施工者：仲宗根 恒、
屋良 朝治

歴史ある首里の一画の住宅敷地内に設置された案内板であり、住民による来訪者への心遣いを感じさせる。英語や距離の表記も含めて適切で有益な情報を伝えている。時間を経て味わいを加えている琉球松と銅板の素材、文字のデザイン、ユーモラスな小さなシーサー、敷地内の植栽との調和など、細やかな味わいが周囲の景観づくりに貢献している。

《屋外広告物部門》



68 郷土料理の店 糸ぐるまの屋外広告物

（泊1-22-9）

広告主：仲村 佳子
デザイン：仲村 良英
施工者：仲村 良英

住宅地にある飲食店として、景観形成に貢献しながらも店舗の存在を示す看板である。落ち着いた植栽と玄関周りのしつらえの上に暖簾、木製看板、シーサー、珊瑚、行灯型照明などを、控えめながらバランスよく配置することで店舗のイメージを上手に伝えている。

《屋外広告物部門》



69 花咲酒家 ていーだ おもろまちの屋外広告物 ※

（おもろまち1-2-13）

広告主：有限会社
グローバル スタッフ
デザイン：有限会社 Line Work
施工者：有限会社 mts

那覇新都心地区の商業地域にあり大型看板が連なる中で、控え目な看板と奥行きのある空間の総体によって店舗の存在を示している。木製看板、シーサー、人工的な周辺環境にうおいを与える植栽、アプローチのしつらえの調和が品格を示しており、場のデザイン自体が効果的なサインとなっている。

《建築物・工作物・広場部門》



70 首里崎山町馬場通り

（首里崎山町1丁目）

設計者：株式会社
末吉栄三計画研究室
施工者：株式会社 田端建設、
株式会社 新崎土木、
株式会社 稲福建設
維持管理：首里崎山町自治会

琉球王朝時代には馬術訓練場として、また首里三箇の1つとして琉球泡盛の製造を許可された歴史を持つ地域の通りである。アカギやさがり花の並木やせせらぎ、モニュメントが配置された通りの風景は、首里王朝時代の豊かな生活文化を彷彿とさせ、地域の方が大切に育まれている感じが感じられる。

《屋外広告物部門》



72 kuma cafe の屋外広告物

（牧志 2-21-1）

広告主：森 和幸、
西山 礼男
デザイン：同上
施工者：同上

看板自体は小さなつくりであるが、街角の小さな空間をオーニング・緑・テーブルイスなどで演出することにより、通りに安らぎのある空間を提供することで、店舗の雰囲気を与えている。良く手入れされた植栽と手作り感のあるテーブルイスが店舗のサインとなり、自然に店内に誘い込まれるような親しみある風景をつくりだしている。

《建築物・工作物・広場部門》



71 松山公園連携施設（クニダテラス）

（久米 2-30-6）

設計者：株式会社
デザインネットワーク
施工者：先嶋建設 株式会社
維持管理：一般社団法人
那覇市観光協会

那覇市と中国福建省福州市の友好関係を記念して作られた中国式庭園「福州園」と緑で結ばれた屋上庭園や広場などの施設は、解放感があり、地域に豊かな散策と憩いの場を提供している。市街地への玄関口にふさわしく、地域住民だけでなくクルーズ船で那覇を訪れる来訪者にとっても魅力的な施設となっている。

《屋外広告物部門》



73 ステーキレストラン碧（国際通り松尾店）の屋外広告物

（松尾 1-2-9）

広告主：株式会社 碧
デザイン：玉城キヨレス
施工者：有限会社 アクシス

賑わいのある国際通りにおいて、外壁を利用したシンプルにデザインされた看板は、通りを行く人への思いやりと景観への配慮が感じられる。壁面にバランスよくレイアウトされたロゴは、外壁の色や風合い、照明との取り合わせも良く考えられ、派手な看板が多い繁華街において、良好な景観を創出し、美しく目を引く広告物である。

《建築物・工作物・広場部門》



74 壺屋やちむん通りの井戸（アガリヌカー）とガジュマル

（壺屋1丁目28）

所有者：壺屋町民会自治会
設計者：－
施工者：－

やちむん通りは那覇市内でも特に美しく歴史を感じられる整備が施された場所である。この井戸は古くからこの場所にあり、ひめゆり通り側からやちむん通りに入るシンボルとして、そしてスーヅグァー（路地）へと続く道へと誘う案内人のように、雄大なガジュマルの樹と共に美しい景観に役買っている。

《建築物・工作物・広場部門》



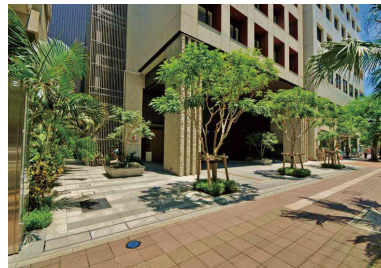
76 緑ヶ丘公園 エントランススペースと公衆トイレ

（牧志1丁目（緑ヶ丘公園内））

所有者：那覇市
設計者：（株）国建
施工者：（有）南風原工務店

カフェや雑貨屋さんなどお洒落なお店が建ち並びニューパラダイス通りにおいて、誰もが気軽に立ち寄りたくなるような通りの魅力を取り入れている。敷地内には遊歩道がめぐらされ、周辺に植えられた植栽は、彩りだけでなく香りも楽しむことができ、イスとテーブルを配置することによって、居心地の良い空間となっている。

《建築物・工作物・広場部門》



75 アルモントホテル 那覇県庁前の公開空地

（久茂地1-3-5）

所有者：（株）鉢嶺本店
設計者：（株）山下設計
山万（株）一級建築士事務所
施工者：（株）國場組

オフィス街の1街区のちょうど真ん中に、都会の喧噪の中ブチ森林浴を感じられるお洒落なスーヅグァー（緑道）が生まれ、快適性と利便性を高めている。植栽ベンチやたまり空間が配置され、ホテルのロビーからもスーヅグァー（緑道）を借景しているため、持続性の高い管理が十分行き届いている。

《屋外広告物部門》



77 Kamanyの看板 ※

（壺屋1-22-36）

所有者：（有）育陶園
設計者：同上
施工者：同上

やちむん通り沿いにある焼き物販売店の看板は、木造赤瓦で歴史を感じさせる建物が目を引き、ガラス越しに商品を見せ、歩いて楽しい雰囲気演出している。その中にセンスの良い看板が通りを歩く視線高さに掲げられており、やちむん通りの魅力アップにつながっている。

《小さな建物部門》



78 桜坂下フォレストガーデン

（牧志3丁目2-41）

所有者：合資会社 勉強堂
設計者：建築意思
庭園設計：庭と建築HARVEST HIGH!
施工者：IMI CORPORATION

マチグラーの入り組んだ景観の中に佇む、都会的なデザインと個性を引き立てる素材感が秀逸であり、周辺に柔らかさと落ち着いた雰囲気を与えている。自然に人を誘うシンボルツリーと敷地内の緑化空間は、隣接する希望ヶ丘公園の緑と一体となったロケーションを活かした都会のオアシス空間となっている。

《まちのインフラ部門》



80 龍潭の水辺広場
（ポケットパーク）

（首里池端町地内）

所有者：那覇市
設計者：有限会社 アーバンエンジニアリング
施工者：株式会社 サンライト

龍潭通りの赤瓦とグリーンベルトの街なみに添えられた開放的な広場は、近隣の児童をはじめ地域の方々に親しまれ、日常的に利用されている。首里の杜に続く緑、豊かな水、伝統的な素材を活かしたデザインが首里の風景に溶け込むとともに、これまでの歴史ある風景や人の営みを繋ぐ空間となっている。

《風景まちづくり部門》



82 阿手川公園の愛護活動 （泉崎2丁目102-5）

所有者：那覇市
活動団体：阿手川公園 愛護会

都心の住宅街に位置する小公園において、愛護会による丁寧で質の高い緑化と維持管理がなされており、美しい花木に彩られた居心地の良い空間からは、地域への深い愛着が感じられる。日常的に利用する公園の風景を、地域が自らづくり・そだてる活動は、これからの景観まちづくりの可能性を感じさせる取り組みである。

《大きな建物部門》



79 ホテル ストレータ那覇

（牧志1丁目19-8）

所有者：三菱UFJ信託銀行 株式会社
設計者：UDS 株式会社
施工者：株式会社 鴻池組 九州支店

沖縄らしい植栽や石灰岩、花ブロックを用いたエントランス周りや、都心の風景にも馴染む色や素材を多様に組み合わせた意欲的な意匠は、沖縄の風土を上手く取り入れた表現となっている。敷地形状を活かした配置、既存木を活用した緑化、夜間のライトアップなど、きめ細やかな景観への配慮が見られ、良好な都市景観の形成に貢献している。

《すてきな広告部門》



81 桜坂劇場の屋外広告物

（牧志3丁目6-10）

広告主：株式会社 クランク（桜坂劇場）
デザイン：LITTAL metal works
施工者：同上

地域の愛称「桜坂」の由来となった桜をモチーフとした看板は、映画や音楽を通して文化を発信し続ける施設の特徴を上手く表現している。永らく地域で親しまれてきた情景は、沿道に並ぶ映画ポスターやレトロな佇まいと相まって、道行く人を引き付ける地域の魅力ある景観をつくり出している。



那覇市都市景観条例 (平成23年那覇市条例第39号)

制定 2011(平成23)年12月27日

(抜粋)

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、市街地の美観の形成、歴史性及び地域性豊かな景観の保存と再生その他の都市景観の形成に関する必要な事項並びに景観法（平成16年法律第110号。以下「法」という。）の施行に関し必要な事項を定めることにより、那覇の個性豊かな都市景観をまもり、そだて、つくり、もって私達の郷土・那覇を市民一人一人にとって親しみと愛着と誇りのあるものとするを目的とする。

第4章 表彰等

(表彰)

第28条 市長は、優れた都市景観の形成に著しく寄与していると認める建築物、工作物、屋外広告物その他の物件について、当該物件の所有者、設計者、施工者その他関係者を表彰することができる。

那覇市都市景観条例施行規則 (平成23年那覇市規則第11号)

制定 2012(平成24)年3月27日

(抜粋)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、景観法（平成16年法律第110号。以下「法」という。）及び那覇市都市景観条例（平成23年那覇市条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第4章 表彰及び助成等

第1節 表彰

(景観賞)

第25条 条例第28条による優れた都市景観の形成に著しく寄与している建築物、工作物、屋外広告物その他の物件（以下「景観物件」という。）の表彰は、那覇市都市景観賞（以下「景観賞」という。）として行うものとする。

2 景観賞の表彰は、都市景観の向上と景観に関する市民意識の高揚を図ることを目的とし、まちの景観形成に関与している関係諸団体の協力を得て実施する。

(表彰の方法等)

第26条 景観賞の表彰は、当該景観物件の所有者に対しては表彰状及び表彰銘板を、その他のものに対しては表彰状を授与して行う。ただし、所有者が国又は地方公共団体である場合はこれを行わない。

2 市長は、景観賞の受賞者、表彰の理由等を公表するものとする。

(景観物件の選定手続)

第27条 景観物件は、広く市民の推薦又は所有者等の応募のあったもののうちから、審議会が選定する。

2 前項の推薦又は応募について、市長はあらかじめ景観物件の種類、用途、完成年次等の条件を付することができる。

(景観物件の評価基準)

第28条 景観物件を選定するための評価基準は、審議会で定める。

第5章 雑則

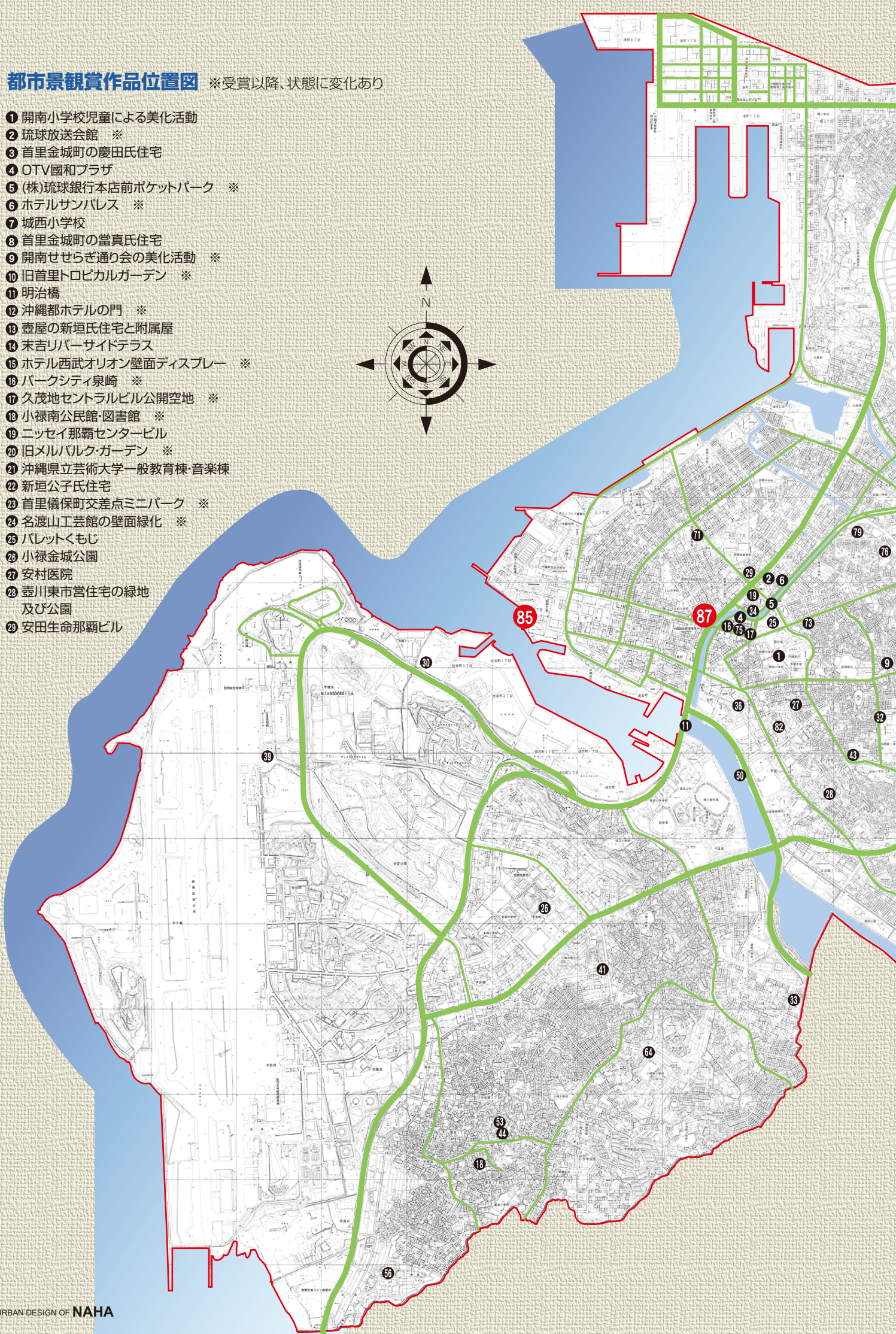
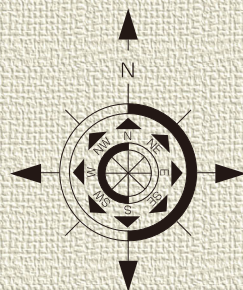
(その他)

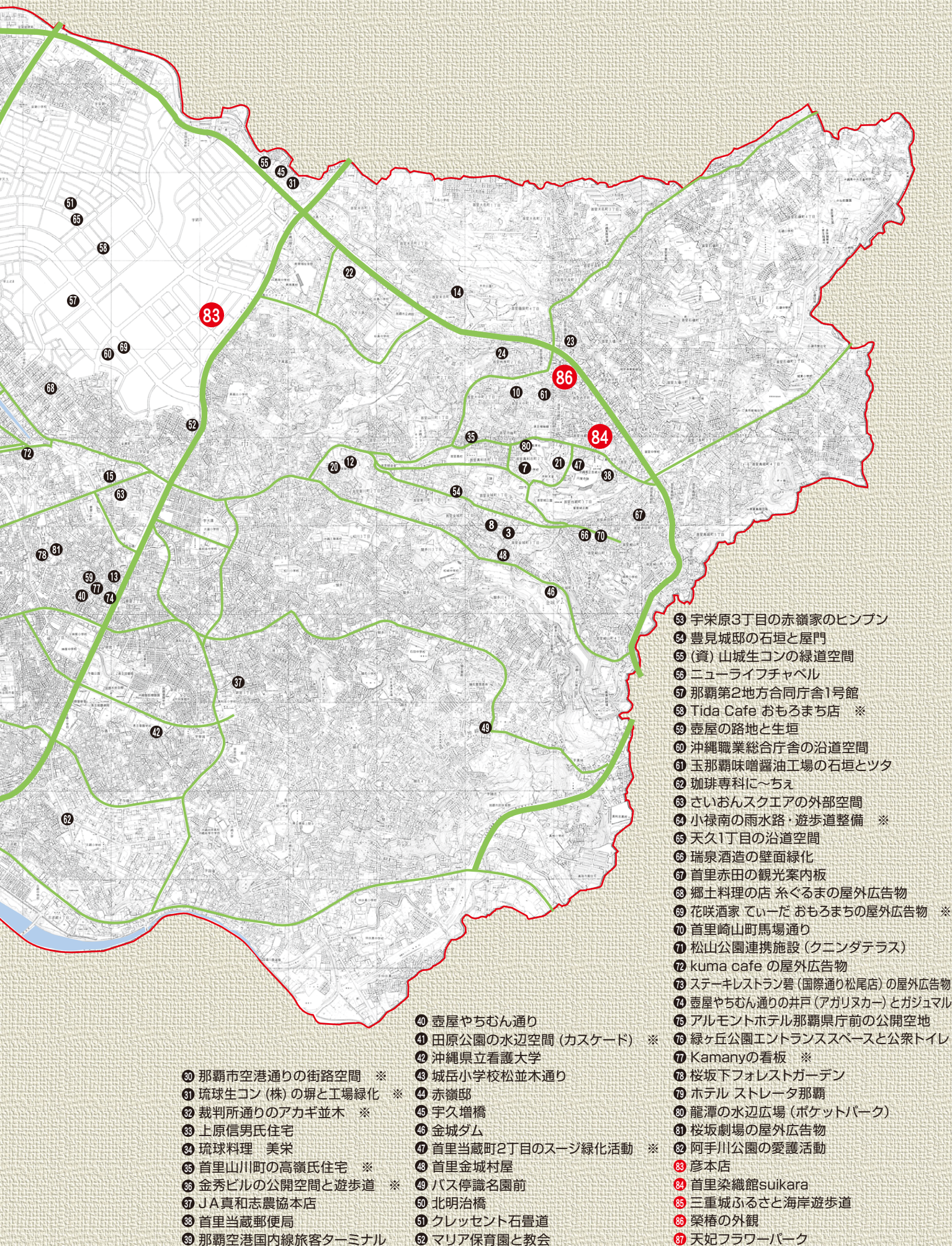
第40条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則 この規則は、公布の日から施行する。

都市景観賞作品位置図 ※受賞以降、状態に変化あり

- ① 開南小学校児童による美化活動
- ② 琉球放送会館 ※
- ③ 首里金城町の慶田氏住宅
- ④ OTV國和プラザ
- ⑤ (株)琉球銀行本店前ポケットパーク ※
- ⑥ ホテルサンパレス ※
- ⑦ 城西小学校
- ⑧ 首里金城町の眞氏住宅
- ⑨ 開南せせらぎ通り会の美化活動 ※
- ⑩ 旧首里トロピカルガーデン ※
- ⑪ 明治橋
- ⑫ 沖縄都ホテルの門 ※
- ⑬ 壺屋の新垣氏住宅と附属屋
- ⑭ 末吉リバーサイドテラス
- ⑮ ホテル西武オリオン壁面ディスプレイ ※
- ⑯ パークシティ泉崎 ※
- ⑰ 久茂地セントラルビル公開空地 ※
- ⑱ 小禄南公民館・図書館 ※
- ⑲ ニッセイ那覇センタービル
- ⑳ 旧メルパルク・ガーデン ※
- ㉑ 沖縄県立芸術大学一般教育棟・音楽棟
- ㉒ 新垣公子氏住宅
- ㉓ 首里儀保町交差点ミニパーク ※
- ㉔ 名渡山工芸館の壁面緑化 ※
- ㉕ バレットくもじ
- ㉖ 小禄金城公園
- ㉗ 安村医院
- ㉘ 壺川東市宮住宅の緑地及び公園
- ㉙ 安田生命那覇ビル





- ※ 那覇市空港通りの街路空間 ※
- ※ 琉球生コン(株)の塀と工場緑化 ※
- ※ 裁判所通りのアカギ並木 ※
- 上原信男氏住宅
- 琉球料理 美栄
- ※ 首里山川町の高嶺氏住宅 ※
- ※ 金秀ビルの公開空間と遊歩道 ※
- J A 真和志農協本店
- 首里当蔵郵便局
- 那覇空港国内線旅客ターミナル

- 壺屋やちむん通り
- ※ 田原公園の水辺空間(カスケード) ※
- 沖縄県立看護大学
- 城岳小学校松並木通り
- 赤嶺邸
- 宇久増橋
- 金城ダム
- ※ 首里当蔵町2丁目のスージ緑化活動 ※
- 首里金城村屋
- バス停識名園前
- 北明治橋
- クレセント石畳道
- マリア保育園と教会

- 53 宇米原3丁目の赤嶺家のヒンブン
- 54 豊見城邸の石垣と屋門
- 55 (資)山城生コンの緑道空間
- 56 ニューライフチャペル
- 57 那覇第2地方合同庁舎1号館
- 58 Tida Cafe おもろまち店 ※
- 59 壺屋の路地と生垣
- 60 沖縄職業総合庁舎の沿道空間
- 61 玉那覇味噌醤油工場の石垣とツタ
- 62 珈琲専科に~ちえ
- 63 さいおんスクエアの外部空間
- 64 小禄南の雨水路・遊歩道整備 ※
- 65 天久1丁目の沿道空間
- 66 瑞泉酒造の壁面緑化
- 67 首里赤田の観光案内板
- 68 郷土料理の店 糸くるまの屋外広告物
- 69 花咲酒家 てい一だ おもろまちの屋外広告物 ※
- 70 首里崎山町馬場通り
- 71 松山公園連携施設(クニンダテラス)
- 72 kuma cafe の屋外広告物
- 73 スターキレストラン碧(国際通り松尾店)の屋外広告物
- 74 壺屋やちむん通りの井戸(アガリヌカー)とガジュマル
- 75 アルモントホテル那覇県庁前の公開空地
- 76 緑ヶ丘公園エントランススペースと公衆トイレ
- 77 Kamanyの看板 ※
- 78 桜坂下フォレストガーデン
- 79 ホテル ストレータ那覇
- 80 龍潭の水辺広場(ポケットパーク)
- 81 桜坂劇場の屋外広告物
- 82 阿手川公園の愛護活動
- 83 彦本店
- 84 首里染織館suikara
- 85 三重城ふるさと海岸遊歩道
- 86 榮椿の外観
- 87 天妃フラワーパーク



お問い合わせ/那覇市 都市みらい部 都市計画課 都市デザイン室
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号 TEL098-951-3246